

双葉町の土地利用の在り方について（論点）

【今後の審議の進め方について（平成24年10月16日第3回委員会）】

- ・ 全域が帰還できるまでに相当な時間を要する場合に、線量が低くなった土地の利用の在り方についてどのように考えるか

1. 空間放射線量が低くなるまでには長期間が見込まれる中で、双葉町の土地を現在のまま維持していくのがよいか。それとも、空間放射線量が低くなるまでの暫定的な土地利用といった考え方についてどのように考えるか。
2. 本格的な復旧・復興には長期間を要するにしても、一時立入をより安全に行うという観点から当面の間取り組むべきことはどのようなものがあるか。また、今後のお墓などの管理についてどのように考えるべきか。
3. 空間放射線量が低くなった場合に、双葉町の土地をどのように復旧・復興させていくか。空間放射線量が低くなるには長期間が見込まれる中で、これまで住んでいた場所に戻るのか、それとも住宅やインフラの整備を含めて全く新しいまちづくりを行うことがよいか。

【ふるさと再建部会資料3：「7000人の復興会議」における双葉町の土地利用に関する町民の意見・提案（例示）】